

第3学年国語科学習指導案

1 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう 「ちいちゃんのかげおくり」

2 指導観

① 児童の実態

本学級の児童は、これまでに物語文として「きつつきの商売」や「三年とうげ」を学習してきている。そこでは、題名と冒頭から読みのめあてを生み出し、全文を読むということをしてきた。その後、読みのめあてに対するそれぞれの答えを導き出して、よりくわしく読んでいくために場面分けをし、各場面では登場人物の言動をもとにや気持ちを考えてきた。このように学習の流れはつかんできている。

また、場面をよりつかむための音読やえんぴつ読みに関しても定着してきている。ただ、登場人物の言動に線は引けているものの、そのときの気持ちについてなかなか書けない児童もいて、時間がかかることも多かった。

ひとり読みの後、交流活動を行った。ここでは、登場人物の気持ちがどのように変わってきたのかとらえるために互いの考えを交流した。そこでは、自分の考えは言っても友だちの考えと比べて聞くことにおいては、「同じです」「違います」というものだった。人とからませて意見を述べるというところまでは至っていない。

② 教材の価値

本教材は、戦争中の物語で、その悲惨な姿を幼いちいちゃんを通して訴えかけるものである。家族みんなまで幸せに暮らしていたのに、お父さんが戦争に行き、戦争が激しくなると今度は家族とはなればなれになってしまい、ついには命を落とす話である。「かげおくり」をする場面も「みんなでするかげおくり」から「二人でするかげおくり」になり、ついには「一人でするかげおくり」になっていく。この、かげおくりの移り変わりを通して、ちいちゃんの様子や気持ちも楽しいものから変わっていくというものである。

この物語は、初め家族でできたものが戦争でできなくなり、最後にはひとりぼっちになってしまうというように、場面の様子やちいちゃんの気持ちが言葉で分かりやすく表されており、叙述をもとに想像しながら読む力を育てていくものとして価値がある。また、ひとり読みにおいてもちいちゃんのしていることがわかりやすく、その思いも自分と比べたり、想像したりしやすいものと思われる。だから、書き込むことも比較的できやすい教材であると考えられる。

③ 指導に当たって

本題材の指導に当たっては、次のような工夫を考えている。

- i 出合う段階では、まず題名と冒頭から登場人物をつかませ、全文を読み通していく読みのめあてを作らせる。
- ii 見通す段階では、全文を読んで読みのめあてに対する自分なりの考えを持たせる。その考えを交流した後、今後どのように考えていくのか見通しを持たせるために場面わけをして学習計画を立てる。
- iii 読み確かめる段階では、ひとり読み、交流活動という学習の流れをすることで、主人公である「ちいちゃん」の気持ちに迫る。ひとり読みの活動では、まず音読を学習の中に位置付けたあとえんぴつ読みをしていく。ここでは、まずちいちゃんがしたこと言ったことに線を引き、そのときの気持ちを考えていく。交流活動では、ちいちゃんの気持ちがどのように変わっていったのかを視点として、その叙述をもとにして交流させる。交流の仕方については、意見の出し方や話の聞き方などについて留意することを確認して取り組む。
- iv まとめの段階では、全文を読んだ後、なぜ「ちいちゃんのかげおくり」という題名がついたのか、作者が考えたことに迫りたい。

3 目標

- ◎ ちいちゃんがしたことや言ったことを見つけてその時の気持ちを考え、どのように気持ちが変わったのか自分で書くことができる。《自ら》
- ◎ 自分が見つけた文を根拠として、その時の気持ちを前の場面とくらべて、互いに交流することを通して、自分の考えをより深めることができる。《互いに》
- ◎ ちいちゃんの言葉や態度、その気持ちを表す言葉に着目して、「楽しいかげおくり」から「家族にやっと会えたうれしいかげおくり」へと変わっていったことをとらえ、読み手であるわたしたちには悲しいかげおくりであることを読み取ることができる。《読み》

4 指導計画 12時間（※支援 aはひとり読みに関する支援 bは交流活動に関する支援）

配時	主な学習活動と内容（○）	支援（※）と評価の視点（◆）
1	<p>題名と冒頭から読みのめあてをつくる。</p> <p>1 題名「ちいちゃんのかげおくり」から、考えたことや疑問に思ったことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かげおくりって何かな。 ・ちいちゃんってどんな子かな。 <p>2 題名とつないで、冒頭を読む。</p> <p>○ ちいちゃんの特ちょうやどんなかげおくりをしたのかをとらえること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族四人でしたかげおくり <p>3 題名と冒頭から読みのめあてをつくる。</p>	<p>※ ちいちゃん、かげおくりという言葉に着目して考えさせる。(a-3)</p> <p>※ 考えたことを自由に出させる。</p> <p>※ 自分の考えと似たところ、違うところを考えて聞くように促す。(a-3)</p> <p>◆ 題名からどんな話を考えたり発表したりできているか。</p> <p>※ 各自のめあてを出し合い、整理しながらクラスとしての読みのめあてをつくる。</p>
	<p>【読みのめあて】</p> <p>ちいちゃんは、この後どうなっていくかな。ちいちゃんのかげおくりってどんなかげおくりだろう。</p>	
2	<p>全文を通して読み、ちいちゃんのしたかげおくりから、読みのめあてに対する自分なりの考えを持つ。</p>	
3	<p>1 全文を読む。</p> <p>2 時間と場所を表す言葉に着目して五つに場面分けをし、読みのめあてに対する自分の考えを書きまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏のはじめのある夜 ・朝になりました。 ・明るい光が顔にあたって ・夏のはじめのある朝 ・それから何十年 <p>○ 家族に会えてうれしいかげおくりは自分たちから見ると悲しいかげおくりであることを読み取ること。</p>	<p>※ 意味の分からない言葉は、国語辞典を使って調べさせる。(a-1)</p> <p>※ 登場人物のちいちゃんの様子や言動を考えていくことを確認し、五場面であることをおさえる。(a-3)</p> <p>※ ちいちゃんの行動を時間をおって考えさせる。(a-1)</p> <p>※ できるだけ多く発表させる。</p> <p>◆ ちいちゃんの様子や気持ちを考えて、自分なりに読みのめあてに対する自分の考えを書いているか。</p>
	<p>【読みのめあてに対する自分の考え】</p> <p>初めは家族みんなでできたかげおくりは楽しかったが、次第に戦争がはげしくなり、とうとう一人ぼっちになってしまった。そしてたった一人でしたかげおくりで家族に会えてうれしかったが、それは命がなくなったから会えたのだった。本当は悲しいかげおくりだ。</p>	

4	<p>場面ごとに読み確かめの学習計画を立てる。</p> <p>1 全文を読む。</p> <p>2 場面ごとの挿し絵をもとに、疑問やもっとくわしく読みたいところなどを出して学習の計画を立てる。</p> <p>○ 読み確かめる見通しを持つこと。</p>	<p>※ ちいちゃんの気持ちを表している言葉に着目させる。(a-3)</p> <p>※ それぞれの場面で、疑問などを出しておく。</p> <p>◆ 場面ごとに何を明らかにするかつかんでいるか。</p>
5	<p>お母さんと逃げる途中ではぐれてしまったちいちゃんの気持ちを読み確かめる。</p> <p>1 二の場面がどんな場面か確認する。</p> <p>2 音読する。</p> <p>3 えんぴつ読みをする。</p>	<p>※ ちいちゃんが家族とはぐれてしまった場面であることを確認する。(a-3)</p> <p>※ 分からない言葉は国語辞典を使い調べるようにする。(a-4)</p>
<p>《着目させたい言葉や文》</p> <p>ちいちゃんは、<u>お母さんとはぐれました。</u>・・・自分が迷子になった時はどんな気持ちがしたか考えさせる。</p> <p>悲しい・さみしい</p> <p>「お母ちゃん、お母ちゃん。」</p> <p>いつもいっしょにいたお母ちゃんがいなくなって、捜している。</p> <p>はなればなれになって、さみしい。</p> <p>はやく会いたい。帰ってきてほしい。</p> <p>ちいちゃんは、<u>ひとりぼっちになりました。</u>・・・どんなにさみしいだろう。</p> <p>ひとりになりました。 } の違い</p> <p>ひとりぼっちになりました。 }</p>		
6	<p>4 線を引いたところを発表する。</p> <p>5 ちいちゃんがどんな気持ちだったか話し合う。</p> <p>6 話し合ったことをもとに、学習の感想を書く。</p>	<p>※ 考えの根拠になるところを明らかにして発表させる。(b-2)</p> <p>※ 友だちの意見と比べて聞かせる。(b-2)</p> <p>※ 友だちの意見を聞いて自分の意見をまとめさせる。(b-2)</p>
7 本時	<p>ひとりぼっちで家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み確かめる。</p> <p>1 三の場面がどんな場面か確認する。</p> <p>2 音読する。</p> <p>3 えんぴつ読みをする。</p>	<p>※ ひとりぼっちになり、待ち続ける場面であることをおさえる。(a-3)</p> <p>※ 分からない言葉などは国語辞典で調べさせる。(a-4)</p> <p>※ 様子や言動を整理してから、気持ちを書き込ませる。(a-4)</p>
<p>《着目させたい言葉と文》</p> <p>なくのを<u>やっ</u>とこらえて言いました。</p> <p>深くうなずきました。→<u>また</u>深くうなずきました。</p> <p>「お母ちゃんとお兄ちゃんは、<u>きっと</u>帰ってくるよ。」</p> <p>・たったひとりできみしい。早く帰ってきて。</p> <p>・わたしをおいて、どこにもいかない。必ず帰ってくる。</p>		
8	<p>4 線を引いたところを発表する。</p> <p>5 ちいちゃんがどんな気持ちだったか話し合う。</p>	<p>※ 考えの根拠になるところを明らかにして発表させる。(b-2)</p> <p>※ 友だちの意見と比べて聞かせる。(b-2)</p>

	6 話し合ったことをもとに学習の感想を書く。	※ 友だちの意見を聞いて自分の意見をまとめさせる。(b-2)
9	<p>ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読み確かめる。</p> <p>1 四の場面がどんな場面か確認する。</p> <p>2 音読する。</p> <p>3 えんぴつ読みをする。</p> <p>《着目させたい言葉と文》 「<u>なあんだ</u>。みんな、こんな所にいたから、来なかったのね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また会えたからうれしい。 ・やっと会えてよかった。 ・心配したけど、会えてほっとした。 ・ひとりぼっちじゃないんだ。よかった。 <p>4 線を引いたところを発表する。</p>	<p>※ たった一人でかげおくりをしている場面であることを確認する。(a-3)</p> <p>※ 分からない言葉などは国語辞典で調べさせる。(a-4)</p> <p>※ 様子や言動を整理してからその気持ちを考えさせる。(a-4)</p> <p>※ 考えの根拠になるところを明らかにして発表させる。(b-2)</p> <p>※ 友だちの意見と比べて聞かせる。(b-2)</p> <p>※ 友だちの意見を聞いて自分の意見をまとめさせる。(b-2)</p>
10	5 ちいちゃんがどんな気持ちだったか話し合う。	※ 友だちの意見と比べて聞かせる。(b-2)
	6 話し合ったことをもとに学習の感想を書く。	※ 友だちの意見を聞いて自分の意見をまとめさせる。(b-2)
11	<p>公園で遊ぶ子どもたちの様子から、作者の言いたかったことを考える。</p> <p>1 五の場面がどんな場面か確認する。</p> <p>2 音読をする。</p> <p>3 子どもたちの様子がわかるところに線を引き、自分の考えを書きこむ。</p> <p>《着目させたい言葉と文》 お兄ちゃんやちいちゃんぐらいの子どもたちが、<u>きらきら</u>わらい声を上げて、遊んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんも4の場面できらきらわらっていた。 ・楽しそうだ。 ・ちいちゃんもみんなが楽しそうだから、きっとうれしいだろう。 	<p>※ 何十年かたった後の場面であることを確認する。(a-3)</p> <p>※ 「きらきら笑う」という言葉をおさえる。(a-3)</p> <p>※ わからない子には、戦争の時代と平和な時代の違いに気付かせ対比して考えさせる。(a-4)</p>
12	<p>4 作者の言いたいことを発表する。</p> <p>5 もう一度全文を読む。</p> <p>6 この物語を読んで、考えたことやよかったことなどをまとめる。</p> <p>○ ちいちゃんの気持ちや、作者のことに関しての感想をまとめること。</p>	<p>※ 友だちの意見と比べて聞かせる。(b-2)</p> <p>◆ 友だちに意見を聞いた後、自分なりの意見をまとめて書いているか。</p>

6 本時目標

- ① ちいちゃんの様子やしたことを表す叙述に着目し、その叙述をもとにちいちゃんの気持ちを自分なりに考えることができる。《自ら》
- ② 「ひとりぼっちのちいちゃんが、ぎつのうの中のほしいいを少し食べました」。や「暗い防空ごうの中で、ねむりました。」「かじりました。」などの言葉をもとに、ちいちゃんのさみしい気持ちを読みとることができる。《読み》

7 本時指導に当たって

本時においては、次のような学習指導の工夫を考えている。

- i 三の場面がどのような場面かを確認してから本時のめあてを提示し、読み確かめていく視点を明らかにする。
- ii 自分で声に出して場面を読み、その内容をとらえるために音読を位置付ける。
- iii ちいちゃんの様子から、中心になる文を取り出して、考えさせていく。
- iv ちいちゃんの気持ちを表しやすいように学習プリントをつくり、書き込ませていく。
- v 様子や言動を示す叙述に線を引いたところを学級全体で整理し、それぞれの叙述からちいちゃんの気持ちを考えさせる。

8 展開 (※支援 aはひとり読みに関する支援 bは交流活動に関する支援)

配時	主な学習活動と内容 (○)	支援 (※) と評価の視点 (◆)
5分	1 本時がどんな場面なのか確認する。 2 めあてを確認する。	※ お母さんとはぐれたちいちゃんは、ひとりで待ち続ける場面であることをおさえる。(a-3)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>《学習のめあて》 たった一人でお母さんやお兄ちゃんを待ち続けるちいちゃんの気持ちを考えよう。</p> </div>		
5分	3 音読をする。	※ 前時までのことを思い出して、そのつながりをつかませた後、音読させる。(a-3) ※ 時間をとって何度も読ませる。
10分	4 えんぴつ読みをする。 ○ ちいちゃんの様子やしたことに線を引くこと。 《期待される児童の姿》 ・ ちいちゃんがしたことに線を引いている。 ・ したことだけでなく説明の言葉からも気持ちが読み取れている。	※ わからない言葉は国語辞典で調べさせる。(a-4) ※ 机間巡視しながら、線を引いているかどうか確認し、つまづいている子には、動作を表す言葉について考えさせる。(a-4) ◆ ちいちゃんの様子や行動を表す叙述を見つけ、線を引くことができているか。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>《着目させたい言葉や文》 お母ちゃんとお兄ちゃんは、<u>きつと</u>帰ってくるよ→「お母ちゃんたち、ここに帰ってくるの。」…深くうなずきました。 ↓ →「じゃあ、だいじょうぶね。」 …また深くうなずきました。 必ず帰ってくると思っている</p> </div>		

15分	<p>5 線を引いたところを発表する。</p> <p>○ 人の意見を聞いて、自分の考えを確かめること。</p>	<p>★線を引くと予想されるところ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なくのをやっところえて、「ここがお兄ちゃんとわたしの部屋。」 深くうなずき, また深くうなずき, ほしいいを少し食べました。 ぼうくごうの中でねむりました。 「お母ちゃんとお兄ちゃんは, きつと帰ってくるよ。」 ほしいいをまた少しかじりました。ねむりました。</p> </div> <p>※ 流れに沿って, 発言させる。(b-1) ※ 人の意見を自分の意見と比べて聞いているか, 反応を示させる。(b-2) ◆ 人に分かるように発表しているか。</p>
12分	<p>6 その時の気持ちを考え, 学習プリントに書き込む。</p> <p>○ ちいちゃん様子や言動から, さみしい気持ちをとらえること。</p> <p>《期待される児童の姿》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちいちゃんの気持ちをプリントに書き込んでいる。 ・ 分からないことを聞いている。 ・ 自分なりに考えて, 書き込んでいる。 	<p>※ 全部出された後, その時のちいちゃんの気持ちを考えさせる。(a-2) ※ つまづいている子がいる場合, やっところえてを例にして, どのように書きこめばいいのか全体で確認し, 書き込み方のヒントを示す。(a-4)</p> <p>① どんな時にすることか。 ② その時の気持ちはどうか。</p> <p>※ 自分の経験から思い当たることも書かせる。(a-3) ★ さみしそう, かなしそう, つらい, ★ 自分もひとりになったことがある。その時は, ◆ 自分の考えを書き込んでいるか。</p>
3分	<p>7 ちいちゃんの待ち続ける気持ちがどうなったかは, 次の時間に交流することを伝え学習のまとめをする。</p>	<p>※ なかなか書き込めない子は例を参考に考えさせる。(a-4)</p>